

プロフィール等	氏名	S.F	性別	男性	年齢	57才	対応可能 時期	即日	最寄り駅	総武線 津田沼駅
---------	----	-----	----	----	----	-----	------------	----	------	-------------

システムを**提供**する立場（SIベンダー等）とシステムを**活用**する立場（一般事業会社 社内SE等）としての経験を活かし、**相手の立場を尊重し、信頼関係を構築**することを心掛けている。**コストを負担する顧客の利益を最大化**することを常に意識している。

顧客側フロントSEとして、業務担当とシステム開発担当と維持・保守に関する要件、仕様等の調整を実施した。また、財務会計システムが新しくなったことを契機に、約3,000人を対象とした管理会計システムを財務会計に適合させると同時に、業務担当の要望を実現すべく要件定義を実施した。

- ・ 現行の問題点、課題を整理し、財務会計に適合させることによる**効果を明確**にした。
- ・ 現行システムを解析しドキュメント化することで、**問題点、見直すべき点を明確**にし、業務要件、システム要件を実現するためのシステム機能設計の**精度向上、効率化を実現**した。

✓ 管理会計システム 新財務会計への適合	(顧客側フロントSE)	職務経歴書	No.15
✓ グループウェア切替	(顧客側PMO)	〃	No.14
✓ クラウドを活用したIT-BCP対策	(顧客側PM支援)	〃	No.13
✓ 全社基幹システム・情報系システム構築	(〃)	〃	No.10
✓ 利用部門と開発ベンダーとの調整	(〃)	〃	No.12, No.11
✓ 利用部門の運用支援、研修立案・実施	(社内SE等)	〃	No.5

ITコーディネーター（失効）、Oracle8 Master PLATINUM（失効）
日商簿記2級、CFP(未登録)、宅地建物取扱士、管理業務主任者

No.	期間	業種／ポジション	プロジェクト内容	チーム人数／ 担当工程
※、直近の経歴より記載				
システムを活用する立場の支援（顧客側PM支援、顧客側フロントSE）				
15	2024年5月～ 2025年9月	大手通信事業会社 ビルディング事業 ／ 顧客側 フロントSE チームリーダー	◆ビルディング事業 管理会計システム 新会計システムへの適合／維持・保守 【業務内容】 顧客側フロントSEとして、業務担当部門とシステム開発担当と維持。保守に関する要件、仕様等の調整を実施した。 また、財務会計システムが新しくなったことを契機に、約3,000人を対象とした管理会計システムを財務会計に適合させると同時に、業務担当の要望を実現すべく要件定義を実施した。 【貢献したこと】 ①、現行の問題点、課題を整理し、財務会計に適合させることによる効果、対応すべきポイントを明確にした。 ②、現行システムを解析しドキュメント化することで、問題点、見直すべき点を明確にし業務要件、システム要件を実現するためのシステム機能設計の精度向上、効率化を実現した。	3名 ／ 要件定義 課題管理 会議体運営
			◆DX推進（SE業務の効率化推進） 【業務内容】 ●在宅勤務100%の勤務形態で、WEB会議の効率化を図るために議事録作成ツールの導入・定着化を推進した。 ●プロジェクトの課題管理の効率化を図るために、プロジェクト管理ツール（MyRedmine）の導入・定着化を推進した。 ・運用を定着化させるための運用ルールを策定した。 ・セキュリティを確保するためのアクセス制限機能を適用した。 ・プロジェクトの特性に合わせた課題管理を実現するために、課題管理で実現する目的等をヒアリングしてプロジェクト管理ツール（MyRedmine）の機能を十二分に活用する方法を提案し、必要な設定等を実施、運用をサポートした。 【貢献したこと】 ①、会議後の議事録作成、振り返り時間を大幅に削減した。 ②、プロジェクト管理に掛かる工数を削減した。 特に社外のメンバーとの進捗管理、課題管理を精度向上、効率化を実現した。	3名 ／ ツール評価・検証 課題管理 会議体運営
			◆クラウドサービス 活用推進 【業務内容】 ●スクラッチ開発した社内SNSが稼働しているOSのサポートが切れることによる対応策を検討した。 ●社内SNSで利用しているミドルウェアは、バージョンが古く独自のカスタマイズも実施しているため、単純な移行では対応できず、多くのコストが掛かるため、業務担当部門との調整が必要となった。 ・社内SNSの問題点、課題を整理し、社内SNSを移行した場合の概算費用を算出し、業務担当部門と認識を合わせた。 ・社内SNSのような機能は、クラウドサービス等では一般的なものであるため、スクラッチ開発したものを移行するのでは、多くのコストが掛かるだけであり、メリットはないことを業務担当部門に丁寧に説明した。 ・すでに導入されているM365で代替できるサービス（Share Point、VivaEngage）を評価・検証し、社内SNSとの比較検討結果を業務担当部門に説明し、最低限の機能は、M365でも補えることを説明した。 ・移行した場合と、M365を利用した場合のイニシャル費用、ランニング費用（年間）の比較を業務担当部門に説明しM365の標準機能を活用して、全社施策である従業員体験（Employee Experience）を向上させる方針に転換した。 【貢献したこと】 ①、業務担当部門は、社内SNSに対する思い入れが強く、M365の標準機能を活用する対応策には否定であったが、社内SNSは、M365の標準機能をできることに機能を絞り、従業員体験を向上させるため施策を検討する方針に転換した結果、移行する場合と比較して、初期費用で約1千万円、ランニング費用（年間）で約240万円を削減した。 ②、M365を活用した他社事例を業務担当部門に説明し、「弱い紐帯の強さ」を実現するための取り組みを検討することになった。	3名 ／ ツール評価・検証 課題管理 会議体運営
			◆社内システム担当チーム チームリーダー業務 【業務内容】 メンバーが担当している案件の管理、メンバーの稼働管理、定例会（1回/週）による情報共有等 【貢献したこと】 ①、属人化していた案件状況を可視化することにより、マイルストーンが明確になり、事前のチェックを可能とした。 ②、MicroSoft Loop等のツールを活用し、チーム内の情報共有に留まらず、上長等への迅速、的確な報告を可能とした。	3名 ／ 情報共有 課題管理 会議体運営

No.	期間	業種／ポジション	プロジェクト内容	チーム人数／ 担当工程
14	2023年8月～ 2023年11月	ファシリティ マネジメント 事業会社 ／ 顧客側 PMO	◆ グループウェア（Google WorkSpaceからMicrosoft365への）切替プロジェクト PMO 【業務内容】 進捗管理、課題管理、会議体運営、ベンダー等関係者間調整 ①. プロジェクト全体PMO ・全体スケジュール策定 ・個別スケジュール作成支援 ・個別スケジュール 関係性、整合性の調整 ・課題管理ルール策定 ・課題解決に向けた関係者との調整 ・社内定例会の運営 ②. ユーザサポートチーム支援 ・パワーユーザ移行支援（Google Apps ScriptからMicrosoft PowerPlatformへの移行支援） 【貢献したこと】 ①. プロジェクトのキックオフより参画し、プロジェクトを円滑に進めるべく運営管理を起動に載せた。 ②. 各チームの主要ミーティングに参加し、各チームを横断した調整、各ベンダーとの調整を実施した。	3名 ／ 進捗管理 課題管理 会議体運営
13	2022年12月～ 2023年3月	業界大手 ／ 顧客側 PM支援	◆ IT-BCP対策 【業務内容】 大規模災害・有事、サイバー攻撃への対策 ①. 大規模災害、有事への対策 ・大規模災害、台湾有事等により、関東地域のデータセンターが機能不全に陥るような災害を想定する。 ・平時は、通常通りデータセンターで稼働しているシステムを利用する。 ・大規模災害、有事の際は、直接的な被害を受けない海外拠点の業務を、海外のクラウドで継続できるようにする。 ・海外拠点の業務を継続するために、必要となるシステム、サーバを明確にした。 ・海外のクラウドでシステムをリカバリする方法として、RPO（復旧時点）を障害発生時の直前に、可能な限り近づけるよう、日次で取得しているバックアップデータを用いるのではなく、スナップショットの機能を用いる案を作成した。 ・データセンターで稼働しているシステムのスナップショットを、AWSの機能を用いて、海外のクラウドで定期的に取得し、大規模災害、有事の際は、ColdStanDByから切り替える仕組みである計画案を作成した。 ②. サイバー攻撃への対策 ・サイバー攻撃により、バックアップデータが破壊されないよう、書き込み不可の領域に保管する対策を実施した。 【貢献したこと】 ①. 経営からのコメントである「クラウドを用いて継続できる業務を明確にすること」への対応として、海外拠点の業務を継続するのに必要となる事前の対策案を作成した。 ②. 業務監査で指摘を受けたサイバー攻撃への対策を策定し、対策の一部としてバックアップデータが破壊されない仕組みを構築した。 ③. ランサムウェアへの対策して、エンドポイントセキュリティ製品の導入を検討した。 ※. 2023年4月より、リモートワークを順次減らす方針となり、勤務場所は自宅から遠方であり通勤が困難であるため、契約更新を断念した。	2名 ／ 計画・立案
2020年4月～			・コロナ禍の影響もあり、積極的な営業活動を見合わせた。 ・不動産賃貸業の再開（新規物件調査、保有物件の売却等） ・新規事業の準備（障害年金のサポート等）	
2017年12月～ 2020年3月			・自転車同士での接触事故にて受傷（右肩鎖骨骨折）したため、治療、リハビリに専念 ・社会保険労務士 資格取得の学習 ・仕事には全く影響がない程度まで、回復したため、営業活動を再開 （2020年3月現在）	
2017年4月～ 2017年12			兼業（不動産賃貸業） 立ち上げ ・事業計画書作成、銀行融資伺い、物件調査、物件取得、物件リフォーム、管理業者選定、賃借人募集、他 ・資格取得（宅地建物取引士、管理業務主任者、CFP、他）	
12	2016年4月～ 2017年3月	業界大手 ／ 顧客側 PM支援	◆ 情報システム業務アウトソーシング （ドキュメント整備まで） 【業務内容】 ①. 情報システムが担当している業務をアウトソーシングするために、業務の棚卸し、ドキュメント整理を実施 ②. 移行計画書 （目的、期待する効果、移行範囲、移行方法、スケジュール、課題管理）を作成 ③. ドキュメント整備 （業務フロー、業務別参照資料一覧 等を作成） ④. マネジメント層への進捗、課題報告 （毎週） 【貢献したこと】 ①. 情報システムが担当している業務に関するドキュメントが整理されていなく、各担当者にヒアリングしながら資料を作成する必要があり、現行業務への負荷が掛からないよう効率的に進めた。 ②. ポイントを明確にした資料（移行計画書、進捗報告資料 等）を作成し、マネジメント層へ適宜説明し、プロジェクトの状況を的確に把握できるようにした。	4名 ／ 要件定義 レビュー テスト計画

No.	期間	業種／ポジション	プロジェクト内容	チーム人数／ 担当工程
8	2010年5月～ 2010年11月	国内トップクラス 国立大学 ／ 社内SE（派遣社員） メンバー	<p>◆ 障害対策を策定するためのリスク調査・分析</p> <p>【業務内容】 基幹システムの障害対策に於ける現状の調査として、障害による業務への影響度（リスク）の明確化と影響度（リスク）が許容できない範囲に対する解決案の提案。</p> <p>【貢献したこと】</p> <p>①. 運用設計（障害対策）に関する資料が全く、担当職員の協力が十分に得られない状態で、ベンダーに問い合わせを行い解決策を検討すべき情報を纏めた。</p> <p>②. 運用設計（障害対策）で検討すべき対策案を提案した。</p>	1名 ／ 企画 分析 構築
			<p>◆ EA（EnterpriSE ArchITecture）導入支援</p> <p>【業務内容】 部分最適化による現状の問題の明確化と解決すべき対策として、EA（EnterpriSE ArchITecture）導入ガイドラインの策定と適用・定着化させるために担当者への説明・教育を実施した。</p> <p>【貢献したこと】</p> <p>①. 現場主導で部分最適が目的でシステムが導入されたため、全体最適化という視点が不十分であったため、無駄・重複投資・過剰投資が多く見られました。</p> <p>これらの問題を解決すべく、EA（EnterpriSE ArchITecture）という統一的な手法を用いて、組織全体の業務を分析し、現状を可視化して全体像を把握できるようにした。</p> <p>②. 戦略と業務・システム如何に整合性を保ちながらマネジメントサイクルを確立させるかというITガバナンス（IT統制）を導入するための取り組みを実施した。</p>	1名 ／ 企画 分析 構築
7	2008年11月～ 2009年8月	カタログギフト 事業会社 （ベンチャー企業） ／ 社内SE PL	<p>◆ データセンター移行</p> <p>【業務内容】</p> <p>①. 協力会社、取引先とプロジェクト管理</p> <p>②. 移行計画立案,移行手順の作成</p> <p>③. 移行テスト計画策定,移行テスト管理</p> <p>【貢献したこと】 データセンターの移行後、大きなトラブルも発生することなく、大幅なコストダウン（月70万円削減）を実現した。</p>	3名 ／ 企画 分析 構築
			<p>◆ BIシステム構築（tableau）</p> <p>【業務内容】</p> <p>①. 要件定義（経営層・マネージャー層・担当者への要件ヒアリング）</p> <p>②. 基幹システム データベース構造調査・分析</p> <p>③. 集約データベースの設計、構築</p> <p>④. BIツールの選定・評価・検証</p> <p>⑤. 分析アプリケーションの構築（tableau）</p> <p>【貢献したこと】</p> <p>①. BIツールの選定・評価・検証の際に、日本に於いてまだ実績のない「tableau」という製品の導入をいち早く決め今までにない低コスト（約20万円）でBIシステムを構築した事により、カタログ販売後に商品が交換された粗利が確定した実績を把握できるようになり損益管理の精度を向上させた。</p> <p>②. 費用を変動費と固定費に分解し、限界利益による損益分岐点分析（CVP分析）を、BIツール（tableau）で実現した。</p>	3名 ／ 企画 分析 構築
			<p>◆ 商品交換 Webサイト ユーザビリティ向上</p> <p>【業務内容】 ユーザビリティを阻害している問題点の洗い出しと改善案を提案</p> <p>【貢献したこと】 カタログギフトを買った送り先様が商品に交換するWebサイトで、利用者の利便性の向上、利用率を高めて収益率を改善する計画を作成し提案した。</p>	1名

No.	期間	業種／ポジション	プロジェクト内容	チーム人数／ 担当工程
6	2008年1月～ 2008年8月	業界大手 滞納家賃保証 アセットマネジメント (不動産流動化) 社内SE PL	<p>◆ 基幹システムの維持管理</p> <p>【業務内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①. 改修案件の要件定義 ②. ベンダー、エンドユーザとのプロジェクト管理 ③. 予算管理・改修案件の進捗管理 ④. 改修案件の受入テスト <p>【貢献したこと】</p> <p>全社社員が利用するシステムであったが、利用部門の業務に影響がないように、システムの改修・改善を実施した。</p>	3名
			<p>◆ ASP型CTI インタフェース構築</p> <p>【業務内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①. プロジェクト管理-要件定義 ②. インタフェース設計 ③. 基本設計 ④. テスト仕様書作成 <p>【貢献したこと】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①. 基幹システムとASP型CTIとのデータ連係をC S Vファイルで行った為、想定できるエラーパターンの洗い出しと、バリデーションチェックをシステムに負荷を掛けなくて実装した。 ②. ASP型CTIを使用して架電を行う事で架電業務が約3倍効率化され年間1億円のコスト削減を実現した。 	3名
5	2003年9月～ 2007年12月	業界大手 福祉用具レンタル卸 社内SE PL	<p>◆ 基幹システム (全社) パフォーマンス改善</p> <p>【業務内容】</p> <p>基幹システムの障害対策に於ける現状の調査として、障害による業務への影響度(リスク)の明確化と影響度(リスク)が許容できない範囲に対する解決案の提案。</p> <p>【貢献したこと】</p> <p>システムが高負荷状態になり、頻繁に業務が停止したが、データベース環境設定、アプリケーション(SQL)を改善することで、安定稼働を実現した。</p>	3名
			<p>◆ 基幹システム再構築 (全社)</p> <p>【業務内容】</p> <p>ベンダーコントロール / インフラ設計 / 共通機能設計 / データベース設計 / 運用設計</p> <p>【貢献したこと】</p> <p>ベンダーでの経験、データベース管理者としての知識、大規模システムの運用設計の経験を、ベンダーが作成した設計書のレビュー、基幹システム再構築の品質向上に役立てた。</p>	3名
			<p>◆ 情報系システム構築 (全社)</p> <p>【業務内容】</p> <p>企画・立案 / 要件定義(データマップ作成) / データベース設計 / BIツール選定 / データ統合アプリケーションの構築 / BIツールによる管理帳票の作成</p> <p>【貢献したこと】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①. 情報系システムの構築により、管理資料の作成に掛かる「作業の効率化」の導入するだけで得られる量的効果に留まらず、「業務の効率化」「特異現象の早期発見」「問題点の正確な把握」「対策の評価・検証」など活用・定着化されてはじめて得られる質的効果まで効果を拡大した。 ②. 入社した当初は情報を活用するという意識が低く、また必要性を感じている人も少なかったが情報活用に関する研修を定期的に実施したことで、「データの意味を理解する」「思考能力を養う」「疑問を持つ」など利用者のデータを活用する力(見る目を養う)を向上させた。 	3名
			<p>◆ 情報活用 定着化への取り組み</p> <p>【業務内容】</p> <p>社内研修制度企画・立案 / 研修企画・実施 (2006年アシストフォーラムにて事例発表)</p> <p>【貢献したこと】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①. 情報系システム構築プロジェクトに於いては、リーダーとしてメンバー3名のマネジメントを担当。2名は女性という事で、仕事と家庭・育児の両立ができるような気遣いを心がけた。また特に研修の企画、資料作成、説明の仕方を指導することにより、メンバーが主体的に研修を企画できるようになった。 ②. 情報活用の定着を目標に、社内SEとして重要な構築したシステムを如何に有効活用するかを目標に、研修制度の企画・立案など研修に注力した結果、データの意味を理解する大切さを、社内に浸透させ利用者のデータを活用する力(見る目を養う)を向上させる為の取り組み方を実施した。 	3名

No.	期間	業種／ポジション	プロジェクト内容	チーム人数／ 担当工程
4	2002年10月～ 2003年9月	コーヒーマシン 販売・メンテナンス 社内SE PL	◆ IT推進業務全般 （全社） 【業務内容】 ①. T投資3ヶ年計画書作成 ②. 業務分析・ヒアリング・問題点分析 / 要件定義書・提案書作成 / ベンダー選定・コントロール ③. 在庫管理システム構築（飲食マシンの部品管理） / プロジェクト管理 【貢献したこと】 全社費用削減推移表によるIT投資3ヶ年投資計画（汎用機リース満了などから得られた 原資でIT活用による業務改善を図るかという計画）は社長から高い評価を得た。	3名
システムを提供する立場（SIベンダー等）				
3	2000年11月～ 2001年12月	業界大手 商社系 SIベンダー ／ メンバー	◆ 大手コンビニエンスストア インフラ設計・構築 ◆ 大規模ポイント管理 システム構築	SE
2	1990年4月～ 2000年10月	富士通系 大手ディーラー SIベンダー ／ PL	◆ ホテルのテナントレストラン精算システム構築 ◆ 中堅量販店スーパー POSシステム導入 / 情報系システム構築 ◆ 大手量販店スーパー 食品センター 物流システム	SE
1	1989年4月～ 1990年3月	ソフトウェアハウス ／ メンバー	◆ 某協会の会員管理・セミナー受講管理システムの構築	PG